

円借款案件【事後モニタリング】 結果表

国名	フィリピン共和国
案件名	マリトボグーマリダガオ灌漑事業（I）

I. 案件概要

(1) L/A 承諾額	48.67 億円
(2) L/A 調印日	1990 年 2 月 9 日
(3) 実施機関	国家灌漑庁（National Irrigation Administration: NIA）
(4) 事業概要	<p>本事業は、ミンダナオ島の中部ミンダナオ地域から一部イスラム教徒ミンダナオ自治地域（Autonomous Region in Muslim Mindanao: ARMM）にかかるプラングイ川流域のマリトボグ・マリダガオ地域に灌漑設備を整備することにより、農業生産の増大及び安定を図り、もって農民の所得向上を通じた地域の貧困削減に寄与するもの。</p>

II. レビュー/モニタリング結果

(1) 事後評価における課題・指摘の概要	<p>本事業で建設された灌漑施設の運営・維持管理に関し、その財源となる水利費徴収率の低さ（2014 年雨季 42%、乾季 30%）が事業効果の持続性の阻害要因として指摘された。また、事業地の治安悪化に伴い事業の中断・延長を要したという事実を受けて、事業計画時及び実施中の、リスク対策向上の必要性が指摘された。</p>
(2) 対応結果/今後の対処方針/事業目標の達成見込み	<p>2017 年にフィリピン政府が水利費を無償化（国庫負担化）したことで、運営・維持管理の財源は安定的に確保されることとなり、事業効果の持続性が改善された。</p>
(3) 教訓	<p>治安状況に不安定要素がある（本件では、反政府勢力の活動が継続していた）地域での事業実施においては、事業実施側が講じることのできる具体的な治安対策の検討（例えば、紛争当事者が早い段階で便益を享受できる参加型事業の導入可能性等）が有用であると考えられる。</p>